

《提出書類の記載例》

1・償却資産申告書

◎ 前年度までに申告された方は、住所、氏名及び取得価額を昨年の申告をもとに印字しています。
印字している内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記載してください。

◎ 今回初めて申告される方は、所有者コードを除き、全て記載してください。

受付印		令和8年〇月〇日		令和8年度 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)				
所有者		東浦町長殿						
1 住所 (又は納税通知書送付先)	470-2102 東浦町大字緒川字政所20 (電話 0562-83-3111)				3 個人番号又 は法人番号			
					4 事業種目 (資本金等の額)			
2 氏名 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名)	ひがしうら たろう 東浦 太郎 (屋号 東浦サービス)				5 事業開始年月 6 この申告に商 答する者の係及 び氏名 (電話)			
					7 税理士等の 氏名 (電話)			
資産の種類		取 得 価 格						
前年中に取得したもの(イ) 前年中に減少したもの(ウ) 前年中に取得したもの(ハ) 計(イ)(ウ)(ハ)(イ)(ウ)								
1 構築物	十億 百万 千 円	7 608 000	十億 百万 千 円	3 250 000	十億 百万 千 円	4 358 000		
2 機械及び 装置		1 052 000				1 150 000		
3 船舶								
4 航空機								
5 車両及び 運搬具		1 540 000					1 540 000	
6 工具、器具 及び備品		679 950 000		79 950 000		1 138 000	601 138 000	
7 合計		690 150 000		83 200 000		1 288 000	608 238 000	
資産の種類		評 価 額 (木)		決定価格 (ハ)		課税標準額 (ト)		
1 構築物	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円		
2 機械及び 装置	前年中に減少した 資産の取得価額の 合計額を資産の種 類別に記載してく ださい。				前年中に増加した 資産の取得価額の 合計額を資産の種 類別に記載してく ださい。			
3 船舶								
4 航空機								
5 車両及び 運搬具	こちらの部分は記載する必要はありません。 【電算により全資産申告する場合は記載してください。】							
6 工具、器具 及び備品								
7 合計								

前年度までに申告されている方のみ、令和7年1月1日現在の取得価格が印字されます。

〔前年前に取得したもの（イ）〕-〔前年中に減少したものの（ロ）〕+〔前年中に取得したもの（ハ）〕によって算出した取得価額の合計額を資産の種類別に記載してください。

所有者住所氏名>

押印は不要です。

個人営業の方は、必ず屋号を記載してください。

相続があった場合は、相続により取得された方の住所氏名により申告してください。
(印字してある前所有者名に抹消線を引き、余白に新所有者名を記載してください。)

・ 法人の方は法人番号を記入してください。 (個人の場合は不要です。)

＜事業種目＞

2以上の事業を行っている場合は主たる事業を記載します。
法人の場合は、資本金（出資金）も記載してください。

〈所有者コード〉

→ 今回初めて申告する方は、記載しないでください。

＜短縮耐用年数の承認等＞

各項目の有無等について、該当する方を〇で囲んでください。

＜資産の所在地＞

事業所等、資産の所在地を記載してください)。

借用資産>

専用（リース）資産の有無について、該当する所有区分を○で
記入ください。

事業所用家屋の所有区分

事業所用家屋の所有区分
事業所用家屋の所有区分について該当する方を○で囲んでください

備考 >

申告内容」、「異動事項」等のうち、該当するものの号を○で囲んでください。

の他、以

住所、氏名等の変更がめづた場合は、変更事由（向う
更等）、変更年月日

課税標準の特例適用資産、又は非課税資産を所有する場合には、その届出書、添付種類の名称

短縮耐用年数、増加償却が適用されている資産を所有している場合には、その届出書、添付種類の名称
届出書を添付してください。

相続があった場合は、「被相続人 ○○ より相続」記載してください。